

# 水稻の初期生育は、水管理が大きく影響します！ 良質な茎の確保と除草剤の効果をも高めるため、適正な水管理を心がけましょう！

## 1 5月中～下旬の育苗・田植えのポイントと注意点

ポイント	注意点
① 育苗ハウスの換気をしっかり行いましょう。	気温が高いと苗の生育が早くなり、徒長・軟弱苗になります。
② 好天日に田植えをしましょう。活着が促進されます。	強風や低温時の田植えは、活着の遅延及び初期生育の不良につながります。
③ 田植え前にはほ場脇に苗を置くときは、状況に応じてかん水をしましょう。	長時間置くと苗が乾き、田植え時の植付精度が低下します。

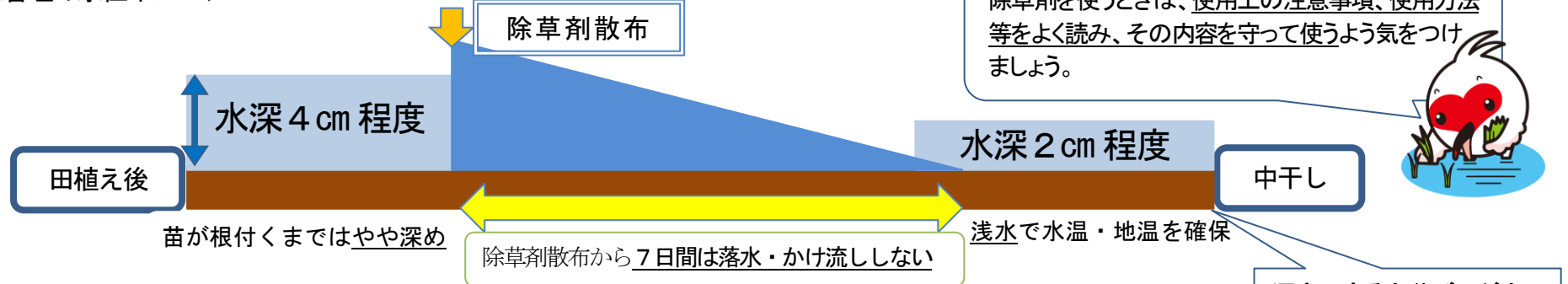
※出穂期に高温に遭う期間を少しでも短くするため、平坦地のコシヒカリは5月15日をめやすに田植えを実施しましょう。

## 2 田植え後の水管理

### (1) 田植え後から中干しまでの管理

	管理内容	ポイント	備考
田植え後	苗が根付くまではやや深水とし、寒さ・強風対策を行う。	水深4cm程度	・保温的な水管理で活着を促進する。
除草剤散布	除草剤散布時は剤型に合わせて水深を変える。	粒剤：3～5cm程度、フロアブル剤：5cm程度、ジャンボ剤・豆つぶ剤：5～6cmを確保	・水深が浅いと除草剤成分が均等に広がらず、薬害や雑草の発生に繋がる。
	(厳守) 除草剤の散布後7日間は落水やかけ流しを行わない。	給水する場合は少ない水量でゆっくり行う。	・除草剤成分を流すと環境に悪影響を及ぼす。 ・除草剤成分が土に吸着されるまで湛水状態を保つ。 ・田面を露出させると除草効果が薄れる。
	除草剤散布の1週間後から中干しまでは水温・地温を確保するための浅水管理とし、分げつの発生を促進する。	水深2cm程度	・水温・地温を上げて生育を促進する。
中干し前	水の更新はできるだけ朝に実施する。	日中は止め水にすることで水温を上げる。	・水温が低いと、生育が遅れる。

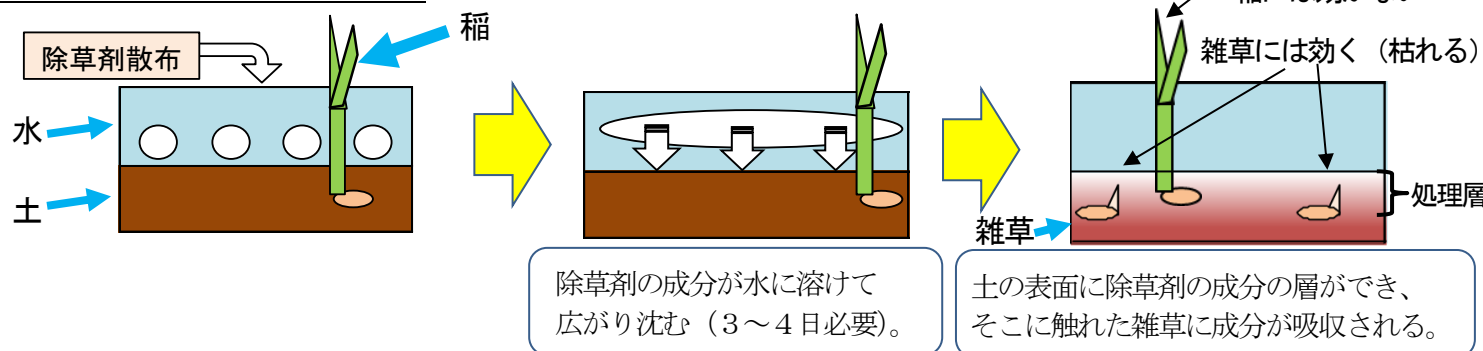
### (2) 水管理の水位イメージ



※田植え同時処理の除草剤を使用する場合は、除草剤の効きを均一にするために田植え直後から水深を確保しましょう。

深水にすると分げつが出にくくなり茎数不足につながるため注意しましょう。

### 参考：初中期一発除草剤の効き方



- 除草剤施用の留意点
- ・効果を安定させるため、畦畔等からの漏水を防ぐこと。
  - ・施用が遅れて雑草の生育が進むと除草効果が著しく低下するので、遅れないよう適期に散布すること。

## 3 その他の「田植えから中干し」までの管理のポイント

管理のポイント	備考
<b>いもち病対策</b> ・コシヒカリ BL 以外の品種で、いもち病に対する箱処理剤を施用していない場合は、6月10日頃に水面施用剤を散布してください。	・新之助はいもち病が発生しやすいため、箱処理剤または水面施用剤で防除しましょう。
<b>ワキ・表層剥離が多い場合</b> ・一時的に落水を行ってガス抜きをしてください。 ・表層剥離の発生が多い場合は、薬剤施用も検討してください。	・ワキや表層剥離は、根腐れや生育不良、稲株の消失に繋がります。 ・近年は発生が目立ち、初期生育に影響が出ています。
<b>「補植」を行う場合</b> ・田植え後の除草剤を散布する前に行ってください。 ・作業が終わったらすぐに補植苗を撤去してください。	・補植苗を残しておくと、病虫害の発生原因になります。

農業機械の泥汚れは自分のほ場できれいにしましょう！  
自分のためにも、周りのためにも、道路や機械に泥を残さないようにしましょう！

### 「春の農作業安全確認運動」実施中！ ～見直そう！作業手順と安全意識～

近年、糸魚川地域では重大事故が多く発生しています。余裕を持った作業計画を立て、安全作業をお願いします。

- ① 周囲からの高齢者等への声かけによる事故防止
- ② 乗用型農業機械操作時のシートベルト・ヘルメットの着用徹底
- ③ 機械の点検・清掃時におけるエンジン停止の徹底
- ④ こまめな休憩と水分補給による熱中症予防

## 『収量・品質向上！糸魚川産米』

「コシヒカリ BL エコライス栽培」に取り組みましょう。

お問い合わせ先	JAえちご上越ひすい営農センター	TEL 0120-640-184
	糸魚川NOSAIセンター	TEL 0120-916-406
	糸魚川地域振興局農林振興部 (農業普及指導センター)	TEL 553-1906



糸魚川市農林水産業振興協議会 (糸魚川市、JAえちご上越、NOSAI新潟、糸魚川地域振興局農林振興部)